

メインテーマ：腎臓病診療のセンス・オブ・ワンダー

ランチオンセミナー

多錠剤数負荷状態の透析患者におけるリン吸収 低下薬（テナパノル；フォゼベル錠）の役割

ながの のぶお
講師 永野信郎氏

医療法人社団日高会 日高病院
学術研究センター室長・治験事務局長・
腎臓病治療センター 研究統括部長
東京女子医科大学 客員教授

【略歴・学歴】

1982年 3月 京都大学 農学部 卒業
1984年 3月 京都大学 農学部 修士課程 修了
1987年 3月 東京大学 薬学部 研究生 終了
1987年 4月～2011年6月
キリンビール、キリンファーマ、協和発酵キリン
開発科学研究所、医薬探索研究所、医薬開発研究所、学術部、薬理研究所
主任研究員 副理事
2005年～2008年 徳島大学 ヘルスバイオサイエンス研究部 非常勤講師
開発薬剤: epoetin alfa, darbepoetin alfa, calcitriol, sevelamer HCl, cinacalcet HCl
2011年 7月 医療法人社団日高会 日高病院
学術研究センター 室長 治験事務局長
腎臓病治療センター 研究統括部長
2011年11月～ 東京女子医科大学 客員教授
現在に至る

【学位】 薬学博士、農学博士

【学会】 日本透析医学会（学術委員会「Green Dialysisに関する検討委員会」委員）、日本
CKD-MBD学会（評議員）、日本薬理学会（学術評議員）、日本腎臓学会、日本腎臓病薬物療
法学会、日本臨床栄養学会



演題登録された皆様も参加登録が必要です。

参加登録をよろしくお願いします。

※近日中にランチオンセミナーの参加集約方法をお知らせします。



全腎懇東京へ参加される方へのお願い

助成金活用のため、八王子市内のホテル利用 100 泊分が必要です。
ご協力をお願いいたします。

本事業は、公益社団法人八王子観光コンベンション協会の MICE 開催助成金を活用しております。

